

秋田市教育委員会
会 議 録

令和元年7月定例会

秋田市教育委員会令和元年7月定例会会議録

- 1 日 時 令和元年7月25日(木)
午後1時15分～午後6時10分
- 2 場 所 第1・第2委員会室
- 3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
学校適正配置推進室長
総務課長
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
学校適正配置推進室参事
生涯学習室長
秋田商業高等学校教頭
秋田商業高等学校事務長
秋田商業高等学校教諭
御所野学院高等学校校長
御所野学院高等学校事務長
御所野学院高等学校教諭
美大附属高等学院校長
美大附属高等学院副校長
美大附属高等学院事務長
総務課長補佐
総務課副参事
学事課長補佐
学校教育課長補佐

生涯学習室長補佐
総務課主席主査
総務課主席主査
学事課主席主査
学校教育課主席主査
学校教育課主席主査
教育研究所主席主査
教育研究所主席主査
教育研究所主席主査
総務課主査
学事課主査
学校教育課主査
学校教育課主査
学校教育課主査
学校教育課主査
学校教育課主査
学校教育課主査
学校教育課主査
学校教育課主査
総務課主任
総務課主任
総務課主事
生涯学習室主事

5 議 題

【付議案件】

議案第11号 秋田市社会教育委員の委嘱に関する件

議案第12号 令和2年度使用秋田市立小学校教科用図書採択に関する件

議案第13号 令和2年度使用秋田市立中学校教科用図書採択に関する件

議案第14号 令和2年度使用秋田市立秋田商業高等学校教科用図書採択に関する件

議案第15号 令和2年度使用秋田市立御所野学院高等学校教科用図書採択に関する件

議案第16号 令和2年度使用秋田公立美術大学附属高等学院教科用図書採択に関する件

【教育長等の報告】

(1) 秋田市学校給食異物混入対策委員会の設置について

6 議 事 午後1時15分開会

【令和元年6月定例会会議録の承認】

令和元年6月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【審議順序変更の議決】

教育長 本日の定例会について、議案6件と報告1件があり、この中でも議案第12号の小学校教科書採択は、質疑や意見集約に特に時間を要するものと考えられる。

したがって、議案第11号の社会教育委員委嘱の審議の後に、議案第14号から16号までの高等学校等の教科書採択の審議と、報告(1)の「秋田市学校給食異物混入対策委員会」の報告を行い、その後に、学校教育課で説明する議案のうち、先に議案第13号の中学校教科書採択を審議し、最後に

小学校教科書採択の議案第12号の審議を行いたいと思うがどうか。

※ 異議がなかったため、議案第11号、14号、15号、16号、報告(1)、議案第13号、12号の順に審議することに決定した。

【付議案件】

議案第11号 秋田市社会教育委員の委嘱に関する件

教育長 議案第11号「秋田市社会教育委員の委嘱に関する件」について、事務局から説明願う。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

委員 今回提案のあった方々は、社会教育に熱心であるため、ぜひ、社会教育委員を委嘱したい。

※ 議案第11号については、全員賛成により、議決された。

議案第14号 令和2年度使用秋田市立秋田商業高等学校教科用図書採択に関する件

教育長 議案第14号「令和2年度使用秋田市立秋田商業高等学校教科用図書の採択に関する件」について、事務局から説明願う。

秋田商業高校教頭 (学校の概要について説明)

秋田商業高校教諭 (資料に基づき説明)

委員 世の中の変化に伴い、必要な教材も随時変わってくると思われる。継続選定の教科書が比較的多いが、教科書の選定に関しても、臨機応変な対応をお願いする。

教育長 「商業」の教科書を出版している出版社は何社ほどあるのか。

秋田商業高校教頭 全ての科目(種目)を網羅しているのは1社のみである。1、2科目(種目)程度の教科書を発行している出版社もあるが、選択の幅はあまり広くないと言える。

※ 議案第14号については、全員賛成により、議決された。

議案第15号 令和2年度使用秋田市立御所野学院高等学校教科用図書
の採択に関する件

教育長 議案第15号「令和2年度使用秋田市立御所野学院高等学校教科用図書の採択に関する件」について、事務局から説明願う。

御所野学院高校校長 (学校の概要について説明)

御所野学院高校教諭 (資料に基づき説明)

教育長 1年生は、新規の教科書を多く選定している印象を受けるが、令和2年度の大学入試の試験内容変更に伴うものか。

御所野学院高校教諭 そのとおりである。

委員 2年生については、新しい大学入試を考慮した教科書を選定しているのか。

御所野学院高校教諭 2年生は、昨年度、新たな大学入試に対応した教科書が採択されており、今年度も同じ出版社の教科書を継続して選定している。

なお、3年生は、現行の大学入試を受験するため、例年使用している教科書を継続して選定している。

※ 議案第15号については、全員賛成により、議決された。

議案第16号 令和2年度使用秋田公立美術大学附属高等学院教科用図書の採
択に関する件

教育長 議案第16号「令和2年度使用秋田公立美術大学附属高等学院教科用図書の採択に関する件」について、事務局から説明願う。

美大附属高等学院校長 (学校の概要について説明)

美大附属高等学院副校長 (資料に基づき説明)

委員 「国語」の教科書は、検定から年数が経っているものがあるが、継続選定する特別な理由があるのか。

美大附属高等学院副校長 該当の教科書については、翌々年度に改訂が予定され

ている。他の出版社で、比較的最近、検定のあった教科書もあるが、本学院の選定の重点を網羅しているか等の観点から、現在使用している教科書がふさわしいと考えている。

教育長 美術の教科で教科書を用いているのは「デザイン」だけであるが、その他の美術の教科では、どのような教材を使用しているのか。

美大附属高等学院副校長 その他の美術の教科は、道具の使い方やモノの作り方など、実技中心である。知識について必要な部分は、プリントを作成し、授業を行っている。

教育長 その他の美術の教科は、教科書自体発行されていないのか。

美大附属高等学院副校長 本校で実施している、その他の美術の教科については、学習事項に合致する内容を掲載している教科書は、発行されていないと考えている。

※ 議案第16号については、全員賛成により、議決された。

【教育長等の報告】

(1) 秋田市学校給食異物混入対策委員会の設置について

学事課長 (資料に基づき説明)

委員 4月から給食への異物混入が続いたが、非常に素早く、かつ、適切な対応であったと思う。この度の秋田市学校給食異物混入対策委員会設置も、教育委員会としての考えが市民に伝わるよう行われている印象を受ける。

今後も、安全・安心な給食を提供するために尽力してほしい。

委員 異物混入の要因が多岐に渡ることを考えると、様々な立場の方から意見をいただきながら解決に向かっていくという姿勢は、大変望ましい。随時、学校に情報提供をお願いする。

委員 秋田市学校給食異物混入対策委員会設置要綱第8条第1項「委員会に、特別の事項を審議させるため、必要があると認めるときは、特別委員を置くことができる。」とある

が、どのような場合を想定しているのか。

学事課長 同委員会における議論の中で、検討すべき新たな課題が見つかり、その課題についての専門家に新しく委員を委嘱するような場合を想定している。

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

【付議案件】

議案第13号 令和2年度使用秋田市立中学校教科用図書の採択に関する件

教育長 これまでの経過を説明願う。

学校教育課長 本件については、令和元年5月定例会において、今年度の中学校教科用図書の採択は、選定委員会を設けずに、令和元年7月定例会で採択することとなったものである。

理由としては、来年度から新学習要領実施となるため、各出版社とも今年度の見本本の内容に変更はないことに加え、新学習指導要領に対応した教科用図書を来年度採択する予定であるためである。

教育長 令和2年度使用秋田市立中学校教科用図書については、現在使用している教科書を継続して使用しようと思うがどうか。

※ 異議がなかったため、議案第13号については、「国語」については「光村図書」、「書写」については「光村図書」、「地理」については「東京書籍」、「歴史」については「東京書籍」、「公民」については「東京書籍」、「地図」については「帝国書院」、「数学」については「東京書籍」、「理科」については「東京書籍」、「音楽一般」については「教育出版」、「器楽合奏」については「教育出版」、「美術」については「光村図書」、「保健体育」については「東京書籍」、「技術分野」については「開隆堂出版」、「家庭分野」については「開隆堂出版」、「道徳」については「光村図書」、「英語」については「東京書籍」の教科用図書を継続して使用することにつき、全員賛成により議決された。

議案第12号 令和2年度使用秋田市立小学校教科用図書の採択に関する件

教育長 審議に入る前に、これまでの経過等について、事務局から説明願う。

学校教育課長 令和2年度小学校教科用図書採択に係る調査研究を行うため、令和元年5月31日に秋田市小・中学校教科用図書選定委員会を設置し、教育委員会から、選定委員会に対して、採択することが望ましい教科書の選定を諮問した。選定委員会では、約1か月に渡る調査研究をもとに、7月5日に選定委員会として推薦する教科書について審議し、7月10日に結果を答申として、選定委員会会長が教育長に直接渡したものである。

教育長 資料について事務局から説明をお願いする。

学校教育課長 (資料について説明)

教育長 審議の方法について確認する。採択対象の発行者全てが審議の対象となるが、秋田市小・中学校教科用図書選定委員会の答申を参考にしつつ、審議したいと思うがどうか。

※ 異議がなかったため、選定委員会の答申を参考に審議することとした。

教育長 それでは議案第12号の審議に入る。はじめに、「国語」の推薦の主な理由等について事務局から説明願う。

学校教育課長 「国語」は、「東京書籍」と「光村図書」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料より説明)

委員 「光村図書」は、内容が親しみやすく、次の学びや、実際の生活にもいかせるような工夫がされている。子どもが自ら学ぶということを念頭に置くと、興味を持って取り組みやすい印象を受ける。

委員 「光村図書」は、「国語」に関する基礎用語が「学習用語」として記載されており、これは子どもの語彙を豊かにすることに役立つのではないか。

また、新しい題材だけでなく、長年読まれてきた質の高い文学作品も扱っており、題材の選択の幅が広く感じた。

委員 保護者も学習経験のある題材があれば、親子で一緒に学習することができるだろう。

委員 国語の学習は、文章を味わい、想像力を養うことが大切である。「光村図書」は、イラストや写真が多い他の出版社と比べると、より想像力が養われやすいと思われる。

教育長 「国語」については「光村図書」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「国語」については 「光村図書」を採択することに決定した。

教育長 次に、「書写」について審議を行う。推薦の主な理由等について事務局から説明願う。

学校教育課長 「書写」は、「東京書籍」と「光村図書」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料より説明)

委員 各社とも、他の教科と関連させた題材を用いているが、「光村図書」は、「道徳」との関連づけ方が他の出版社よりも工夫されている。

委員 各社とも、1年生の教科書では、書くという学習の前段階で、書くこと自体に子どもたちが興味を持てるような内容になっている。特に「光村図書」では、数字を含めた横書きの書き方を、例示を示しながら説明しており、面白く感じた。

委員 「東京書籍」では、3年生で筆を使う意味合いを考える学習がある。また、「ふり返って話そう」という学習過程があり、学んだことを言語化することで、学習に対する理解がより深まると思われる。

教育長 「書写」の学習においては、中学年以降、毛筆の学習が

大きなウエイトを占める。各社とも、毛筆の導入は大変丁寧に扱っており、甲乙つけがたいが、見やすさや学習過程の整理という観点から考えると「光村図書」がよいのではないか。

委員 「書写」の学習は、日常や他の教科にいかしていくことが大切である。「光村図書」の6年生の教材にある「書写ブック」は、6年間の学びの総括として、日常生活や中学校の学習においても役に立つものであろう。

教育長 「書写」については「光村図書」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「書写」については 「光村図書」を採択することに決定した。

教育長 次に、「社会」について審議を行う。推薦の主な理由等について事務局から説明願う。

学校教育課長 「社会」は、「東京書籍」と「教育出版」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料より説明)

委員 「東京書籍」は、学習の流れが一目見ただけでもわかりやすいように感じる。「教育出版」は、学習過程の整理が少し曖昧な部分があると感じる。

委員 「教育出版」は、子どもたちに対する問いかけが多く、主体的に学習に取り組める教科書ではないか。

委員 「問題意識を発展させながら課題を追求していく」というプロセスが、どの出版社にも見られた。「東京書籍」は、書き込みによって自分の考えを表現する機会が多く、学習の定着に効果があるだろう。また、考えのまとめ方の例が多く示されており、資料を読む力にもつながっていくと思われる。

教育長 地震の学習について、「教育出版」は、市役所へ行き、

まちづくりについて調べる活動から始まり、「東京書籍」は、家や学校などで備えているものについて考える活動から始まる。子どもにとっては、「東京書籍」の方が、より身近な部分から社会の仕組みを考えることができるのではないかな。

委員 5年生の情報の単元で、「東京書籍」は、世の中の情報を集める手段としてCMを題材として扱っており、興味深い。子どもたちが、自ら考え、その考えを発展させるという過程を導き出してくれるように感じる。

教育長 「社会」については「東京書籍」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「社会」については 「東京書籍」を採択することに決定した。

教育長 次に、「地図」について審議を行う。推薦の主な理由等について事務局から説明願う。

学校教育課長 「地図」は、「東京書籍」と「帝国書院」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料より説明)

委員 「帝国書院」は、情報が非常に詳しく記載されており、「東京書籍」は、写真を多用することで見やすく、行ったことがない国でも、その場所の状況を垣間見ることができるような内容になっている。

委員 「東京書籍」は、海外旅行のガイドブックのような印象を受ける。「帝国書院」は、導入で概要を学んでから、細かい内容を学ぶ流れになっており、学習が前提にある教科書であると感じる。

委員 「帝国書院」は、「〇〇については〇ページ」といった注釈が多く書かれており、知識に広がりがある。気温や降水量のグラフ等も見やすく、勉強する際に便利であろう。

教育長 「帝国書院」は、「地図」の学習につながる知識を、とても丁寧に扱っている印象を受ける。「東京書籍」は、地図を楽しく見せる工夫がなされている。

「地図」については「帝国書院」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「地図」については 「帝国書院」を採択することに決定した。

教育長 次に、「算数」について審議を行う。推薦の主な理由等について事務局から説明願う。

学校教育課長 「算数」は、「東京書籍」と「教育出版」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料より説明)

委員 「東京書籍」は、やや難解な印象がある。「教育出版」は、自分がどこまでできているのか分かりやすく、4コマ漫画が掲載されているなど、「算数」が嫌いにならないような工夫が多いように感じる。

また、学習を深めようとする子どもにも対応可能な教科書であると思う。

委員 「算数」は、一度つまずくと、嫌いになったり、学習意欲が下がりやすい教科である。「教育出版」は、子どもが「どこでつまずいているのか」がわかりやすい。

プログラミング学習については、「東京書籍」は内容が難解であるが、「教育出版」は、誰もがわかる内容を扱っているように感じる。

委員 「教育出版」は、学習の振り返りがしっかりとでき、一度理解した子どもも、つまずいた子どもも、学習を継続して積み上げていけるような工夫がなされている。目標や目的も明確に示されており、「これからどういう学習をするのか」を理解した上で単元に入ることができるだろう。

教育長 「教育出版」は、各単元の導入部分を見開き2ページで示し、これからの学習と日常の生活体験を結びつけたり、前学年の学習を想起させたりしている。

また、他の出版社と比べると、1段階、過程を多く踏んで学習している単元がある。細かい学習過程が記載されていることで、教員の指導の幅も広がるのではないか。

委員 「東京書籍」は、様々な知識が記載されており参考になるが、難しいと感じる子どももいるのではないか。「教育出版」は、幅広い子どもたちに対応でき、段階的に学びを深めていくことができる。

教育長 「算数」については「教育出版」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「算数」については 「教育出版」を採択することに決定した。

教育長 次に、「理科」について審議を行う。推薦の主な理由等について事務局から説明願う。

学校教育課長 「理科」は、「東京書籍」と「新興出版社啓林館」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料より説明)

委員 答申「(3)推薦の主な理由」の「東京書籍」について、「観察対象となる身近な自然や植物の種類、育ちの様子などが秋田の風土に合致してる」と記載があるが、具体的にどのようなことか。

学校教育課長 例えば、3年生の教科書に掲載されている春の風景は、桜、タンポポ、アブラナなどが掲載され、植物の種類や成長の具合が秋田の風景とほぼ合致していることなどである。

委員 「東京書籍」は、各単元で、導入が疑問から始まり、その答えを明示しないところが印象的である。疑問が解決されたときの喜びにつながるのではないか。

委員 「理科」は、観察や実験が大切である。「東京書籍」は、手順や道具の使い方をより詳しく説明しており、わかりやすい。想定される子ども同士の対話をいくつか例示しており、理科的な対話の意義と狙いが明確になり、理科的思考の向上にもつながるのではないか。

委員 「東京書籍」は、情報量が非常に多く、コラムも充実しているように思う。

教育長 「理科」については「東京書籍」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「理科」については 「東京書籍」を採択することに決定した。

教育長 次に、「生活」について審議を行う。推薦の主な理由等について事務局から説明願う。

学校教育課長 「生活」は、「学校図書」と「教育出版」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 「学校図書」は、困った時には協力し合うという視点が多く、好感が持てた。

また、生活する上のマナーなどについて、「なぜ、そのマナーを守らなければいけないか」を考えさせるなど、子どもたちが自ら考える場面が多く感じた。

委員 「教育出版」は、子どもたちが感じたことを自由に記述する機会が多く、子どもたちの感性がより豊かになると思われる。

委員 「生活」は、普段の生活の中での気づき、発見、体験などを総合的に学んでいくきっかけを作る教科と考えている。「教育出版」は、子どもたちが「生活」の授業に対し、関心を持ちやすいページ作りとなっている。子どもたちが感じたことを表現するためのヒントが多く書かれており、教

員が気づかないようなことに子どもたちが気づくということがあるかもしれない。

委員 「学校図書」は、例として、観察日記などに対して教員のコメントが朱書きで記載されている。これは、子どもの発想を狭める可能性があるのではないか。

教育長 「子どもたちが何を感じたか」を、より大切にしている「教育出版」がよいのではないか。

「生活」については「教育出版」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「生活」については 「教育出版」を採択することに決定した。

教育長 次に、「音楽」について審議を行う。推薦の主な理由等について事務局から説明願う。

学校教育課長 「音楽」は、「教育出版」と「教育芸術社」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料より説明)

委員 「教育芸術社」は、掲載曲数が比較的少ないが、演奏方法や「なぜそのような曲調になっているか」などについて、細かい部分まで丁寧に説明しており、記憶に残りやすいように感じる。

委員 3年生のリコーダーの導入部分を比較すると、「教育芸術社」は、子どもたちになじみのある曲を題材に、音の出し方や息の使い方などをみんなで繰り返し学習する過程があり、子どもたちに寄り添った教科書であると感じた。

「音楽」の指導に関するヒントも多数あり、教員にとっても、この教科書を使用するメリットがあると思われる。

委員 「教育芸術社」は、内容が簡易であり、鑑賞についても、子どもたちが一度は観たことや聴いたことがある題材を使用している。6年生の教科書には、卒業式に関連する曲の

学習があるなど、学習の流れが物語のようになっており、好感が持てた。

教育長 小学校の教員は、必ずしも「音楽」の専門性が高い教員だけではないため、指導のヒントが多く書かれている「教育芸術社」がよいのではないか。

「音楽」については「教育芸術社」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「音楽」については 「教育芸術社」を採択することに決定した。

教育長 次に、「図画工作」について審議を行う。推薦の主な理由等について事務局から説明願う。

学校教育課長 「図画工作」は、「開隆堂出版」と「日本文教出版」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料より説明)

委員 小学生にとっては、完成した作品から、その制作方法を考えるということは難しいだろう。

「日本文教出版」のように、制作過程を見せることにより、子どもたちの創作意欲を沸き立たせ、自分なりの作品を作り上げていくことができるような教科書が望ましいのではないか。

委員 「日本文教出版」は、制作過程の写真が記載されており、目標とする完成形がより身近なものに感じられる。

委員 制作過程がわかることで、子どもたちの発想を限定してしまう可能性もあるが、なかなか構想が浮かばない子どもたちにとっては、ある程度手立てがある方が望ましいのかもしれない。

教育長 「図画工作」については「日本文教出版」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「図画工作」については 「日本文教出版」を採択することに決定した。

教育長 次に、「家庭」について審議を行う。推薦の主な理由等について事務局から説明願う。

学校教育課長 「家庭」は、「東京書籍」と「開隆堂出版」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 「開隆堂出版」は、情報が整理されており、重要な内容が分かりやすい。

委員 「開隆堂出版」は、羽生結弦選手の衣装デザイナーへのインタビューがあり、「家庭」に興味を湧くような工夫もなされている。

委員 調理実習では、細かな点を確認するよりも、実際に手を動かすことが重要と考えている。「開隆堂出版」は、整理された内容の中にも、自ら考える過程があり、子どもの主体性が養われるのではないか。

委員 「家庭」は、実践することによって学ぶことが大切であると感じる。「開隆堂出版」は、様々な題材において、基礎から応用という一連の流れが示されており、学習内容の定着が期待できる。

教育長 「開隆堂出版」は、全体的にシンプルな作りになっているが、学んだことを実生活に活かすためのヒントが随所に見られる。

「家庭」については「開隆堂出版」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「家庭」については 「開隆堂出版」を採択することに決定した。

教育長 次に、「保健」の審議となるが、その前に委員の皆さん

にお伝えしたいことがある。教育委員会5月定例会でも伝えたとおり、私は三親等内の親族が教科書出版社に勤務しており、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第6項の規定により、該当する科目については、採択の審議に加わらず退室したいと考えている。

そこで、該当する科目である「保健」および「道徳」の審議について、教育長職務代理者の加藤委員に進行をお願いする。

※ 教育長、退室

委員 教育長職務代理者として、審議を進行する。「保健」の推薦の主な理由等について事務局から説明願う。

学校教育課長 「保健」は、「東京書籍」と「学研教育みらい」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 「東京書籍」は、各単元の冒頭を読んだだけで、何を学ぶかが分かりやすい。

委員 「東京書籍」は、段階を踏んで学習を深める構成になっている。ステップ3「深める、伝える」では、これまでの学習内容を自分のことに置き換えることにより、学びの定着に結びつくであろう。

委員 「東京書籍」は、5、6年生の心の健康の学習について、「なぜ勉強するのか」が記載がされており、特徴的であった。

委員 「東京書籍」は、災害時に小学生に何ができるか、自分たちの役割を考えさせる単元がある。最近は災害に加え、交通事故等の発生も多いことから、その対応も視野に入れた内容となっているのではないか。

「保健」については「東京書籍」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「保健」については 「東京書籍」を採択することに決定した。

委員 次に、「道徳」について審議を行う。推薦の主な理由等について事務局から説明願う。

学校教育課長 「道徳」は、「光村図書」と「学研教育みらい」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 教科書の表紙や1ページ目の見開きを見ると、「道徳」に対する各出版社の考えが伺える。「光村図書」の全学年の教科書の表紙には、「きみがいちばんひかるとき」と記載がある。この一文は、子ども一人ひとりに、自分自身が「ひかるとき」はいつなのかを考えさせるきっかけになるのではないか。

委員 「光村図書」は、学級と教員の距離感を考慮しながら授業の進め方を臨機応変に調整できる構成になっている。様々な学級でも授業がしやすいのではないか。

また、同じ題材を扱っていても、「光村図書」は、子どもが臨場感を持って作品により入り込むことができるように感じる。

委員 「学研教育みらい」の題材の中で、「このように考えましょう」という記載があり、「道徳」の教科書として疑問に感じた。「光村図書」は全般的にシンプルに作られており、子どもたちに考えさせる上では、こちらの方がよい教科書なのではないか。

委員 「道徳」については「光村図書」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「道徳」については 「光村図書」を採択することに決定した。

委員 以上で、「保健」および「道徳」の審議が終了したため、
進行を教育長に戻すこととする。

※ 教育長、入室

教育長 それでは審議を再開する。「英語」の推薦の主な理由等
について事務局から説明願う。

学校教育課長 「英語」は、「東京書籍」と「光村図書」が推薦されて
いる。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 現在、小学校で行っている外国語活動の実態について教
えてほしい。

学校教育課主査 小学校3、4年生では、聞く活動や話す活動といった言
語活動を行っている。小学校5、6年生では、聞くこと、
話すことに重点を置きながら、文字に慣れ親しむことを目
的に、文字を入れ替えたり並べ替えたりして自分の言いた
いことを表現する活動を行っている。

委員 「東京書籍」は、他教科に関連したページがあり、外国
の文化などに広く目を向けさせているように感じた。文法
を学ぶ前の子どもたちにとっては、英語に慣れ親しむこと
が大事ではないか。

委員 英語を使って各国の生活や文化を知る喜びを味わうため
にも、コミュニケーション活動を重視した教科書が適して
いるのではないか。「東京書籍」の別冊「Picture
Dictionary」は、英語を使ったコミュニケーションに非常
に役立つように感じた。

小学校では、英語を使ったコミュニケーションを学び、
中学校ではそれを下地に、読み書きの力をつけてもらいた
い。

委員 小学校で英語を学ぶ上での喜びは、外国の人とも会話ができることを知ることだろう。学んだ英語が通じることにより、相手や、その相手の国の文化などについて、興味の範囲が広がる。小学校段階では、英語に対する興味をそがないことが大事である。

教育長 「英語」については「東京書籍」を採択することにするがよいか。

※ 全員一致により、「英語」については 「東京書籍」を採択することに決定した。

教育長 全ての種目について、採択する教科書が決定したので、最後に、採択する教科書を確認する。

「国語」については「光村図書」、「書写」については「光村図書」、「社会」については「東京書籍」、「地図」については「帝国書院」、「算数」については「教育出版」、「理科」については「東京書籍」、「生活」については「教育出版」、「音楽」については「教育芸術社」、「図画工作」については「日本文教出版」、「家庭」については「開隆堂出版」、「保健」については「東京書籍」、「道徳」については「光村図書」、「英語」については「東京書籍」である。

※ 議案第12号については、「国語」は「光村図書」、「書写」には「光村図書」、「社会」は「東京書籍」、「地図」は「帝国書院」、「算数」は「教育出版」、「理科」は「東京書籍」、「生活」は「教育出版」、「音楽」は「教育芸術社」、「図画工作」は「日本文教出版」、「家庭」は「開隆堂出版」、「保健」は「東京書籍」、「道徳」は「光村図書」、「英語」は「東京書籍」の教科用図書を使用することに決定した。

【その他、事務局から】

総務課長 令和元年度の「教育委員会事務の点検・評価報告書（素案）」について、説明する。

第1部「点検・評価にあたって」では、点検・評価の趣旨や対象とする事務事業等を整理している。8月定例会において、皆様の意見を反映させた最終案を確認いただく。その後、9月定例会で、学識経験者からの意見を加えた報告書を議決いただき、市議会へ提出する予定である。

第2部「点検・評価の結果」は、体系図と各施策ごとの評価シートからなる。評価シートには、「施策・事業」や、取組の概要を記した「内容」、平成30年度の自己評価である「実績および成果」、令和元年度以降の取組課題や対応方針を整理した「今後の課題と対応」、「方向性」を記載している。

内容について、確認いただき、ご意見等がある場合は8月2日までに事務局に提出してほしい。

【その他、教育委員から】

委員 7月5日に郡山市で開催された令和元年度東北六州市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会へ、委員2名とともに参加したことについて報告する。

福島県立博物館館長から「異邦人が見た日本」を演題に、明治時代のイギリス人から見た当時の東北について講演があったほか、文部科学省初等中等教育局から「学校における働き方改革の推進について」を演題に行政説明があり、大変有意義な研修会であった。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 8月定例会の日程についてお知らせする。定例会は、原則毎月第4木曜日であるが、8月定例会については、8月

29日（木）午後3時30分からを予定している。第4木曜日である8月22日は、教育長および委員1名が全州市町村教育委員会教育長会議に出席する必要があることから、このように変更するものである。日程調整をお願いする。

教育長

8月定例会は8月29日（木）午後3時30分を開催予定とする。委員の皆様、日程調整をお願いする。

午後6時10分閉会